

編輯室の内外

輕井澤へ避暑してゐる親の心子知らずの某氏の娘から繪はがきが舞ひ込んだ、「涼しいけれど毎日霧が多くて困る」と書いてある、「霧があまつたら少し編輯室へ送つてくれ」と返事を出しておいた。アルプス登山の男から「つばくろの頂に立つて自然の莊嚴に打たれた」と言つて來た、早速萬年雪の山の繪はがきを廻覧にした。同人一同は一日の夏休みもなく益々元氣旺盛で活動を續けてゐる、百度近い暑さも何のそのといふ威勢ではあるが續々山からや海からのたよりを受取ると流石に山戀し海懷かしの情抑へ難きものがある。

せめてもの慰にもと此頃將棋盤二面、碁盤一面を買ひ込んで時々仕事の終つた後で各々子供のようになつて一戦を交へる、同人は何れも口から先に生れた男ばかりなのか盤面の合戦よりも寧ろ口合戦の方が中々激しい、横槍も遠慮會釋なく入つて頗る賑はしい、盤面を見ずに話だけを聞いてゐると中々大合戦のようだけれども、まあ大體に於て何れもシチョウ知らずの策碁、玉より飛車を大事がりといふ程度へのホ將棋の域を脱し得ない、殊に編輯上では敏腕の譽高い小兵衛氏の如き誰とやつても勝てないのだが、しかも誰に向つてもも勇敢に挑戦する、誠に無邪氣なものだ、又編輯の御大田中さんは挟み將棋(但し自稱天下第一品)以外何にも出来ない、仕事の上では同人一同なクエウ／＼締めつける田中さんも碁將棋となつてはカラ駄目、テナテ問題にもならな

いのだから愉快此の上もなしさ、將棋の好きな小使が横からのぞいて思はず「先生方のぼどもこれも怪しげなもんだなあ」と嘆聲をもらしたのを聞きつけた誰やら「學生時代には學問ばかり一心にやつてゐた秀才揃なんだからさ」は好い氣なものだ、かくの如くして編輯室は誠に和氣暖々たるものである。

暑い／＼といふのも、半月のことだ、しかし内務省は上海をコレラの流行地として指定するに決したと今日の新聞紙は報導してゐる、傳染病などに警戒を要するのは寧ろこれからである、謹んで大方の讀者諸彦の御健康を祈り新涼の候新装をこらした九月號でお目にかゝることを楽しみにして摺筆する。(論愚生)